

神戸大学大学院国際文化学研究科
2023 リカレント教育プログラム
「ローカル・グローバルと公・民をつなぐ観光リカレント教育」
プログラム概要

専門講義（水曜午前 9:30～11:30：オンラインでリアルタイム配信・録画視聴可）

<講師の都合により講義の順序や配信方法が変更となる場合があります>

1月17日

「異文化理解と観光——ホスピタリティを例として」

井上弘貴（神戸大学国際文化学研究科）

ホスピタリティという言葉は日本でも今日、カタカナ言葉としてひろく用いられています。ただし、欧米で言われる Hospitality と、わたしたちがホスピタリティという言葉でイメージするものとは、果たして同じなのでしょうか。アメリカで用いられている教科書を例にとりつつ、ホスピタリティとして人々が求めるものの日米の違いについて考えます。

「観光と国際政治」

辛島理人（神戸大学国際文化学研究科）

観光は「平和産業」といわれ、戦争や感染症などの外部要因の影響を大きく受けるといわれています。一方で、観光は戦争を一つの手段とする国際政治に影響をあたえる存在でもあります。国連世界観光機関（UNWTO）などの組織を通時的に取り上げ、観光をめぐる国際関係がどのようにみられるのかを議論します。

1月31日

「DXと観光①②」

吉田夏菜（地域創生 Co デザイン研究所）

地域創生 Co デザイン研究所では、多様な地域課題解決に向けてのシナリオ構築やデジタルデータの利活用などを通じて、地域の主体者とともに地域課題の解決だけでなく持続可能な発展や自走ができる体制構築をめざしています。観光分野においても、持続可能な経済社会を作り出すためには、DX化による業務の効率化、旅行者の利便性向上、データ分析による消費向上や経営戦略の検討が求められているなか、DX化やデータ分析を実施することで観光の在り方がどのように変化するのか、弊社の取り組みを中心に話します。

2月14日

「文化遺産と観光①②（歴史文化遺産の継承と観光まちづくり）」

土井祥子（神戸大学 SDGs 推進室）

まちづくりには交流人口までを対象としたアプローチが必要となっています。一方、地域経済の活性化を担う観光サイドにも、まちづくり的な視点が求められています。まち・地域の資源としての歴史的建造

物やまちなみ、文化的景観といった歴史文化遺産の継承を切り口に、まちづくりと観光がどのように接近・接続できるのかについて、事例をもとに考えます。

2月28日

「地域事情①②」

上野雄一郎（JTB 神戸支店）

北村太（神戸観光局）

インバウンドと教育旅行は、MICE とならんで観光需要の平準化をもたらす鍵を考えられています。ポストパンデミックというフェーズに入り、観光需要が戻りつつある現在のインバウンドと教育旅行について、神戸を事例にご説明いただきます。コロナ禍前との比較、関西における神戸の位置、可能性や今後の見通しなどが議論される予定です。

3月6日

「世界事情①②」

中村慎一（ANA 総合研究所）

アメリカではDMOが600以上も存在するいわれ、文字通り民間主導で地域の観光振興を担っています。スペイン・バスク地方がロールモデルとされるガストロノミーツーリズムは、日本をはじめ世界各地で、食を通じてその地域文化にふれる旅として注目をあびています。「DMO」と「食と観光」について、世界の先進事例をご紹介します。

リベラルアーツ（オンデマンド配信）

「世界と日本①②」

辛島理人（神戸大学国際文化学研究科）

川上尚恵（神戸大学グローバル教育センター）

訪日外国人観光客の増加は、海外における日本への関心の高まりを示していると考えられます。そのような世界から日本へのまなざしを考えるために、海外の研究者による日本論（日本学）と日本語教育の過去や現在について議論します。

「境界と移動①②」

衣笠太郎（神戸大学国際文化学研究科）

工藤晴子（神戸大学国際文化学研究科）

観光客は移住を目的とした移動をしていませんが、しばしば「短期移民」といわれることがあります。「観光客」とは何かを考えるために、境界（国境）が変わるとはどういうことか、移民や難民とはどういう存在か、について議論します。

スクーリング（10:00～17:00：神戸市三宮の産官学連携施設で実施予定）

1月19日

「観光は日本史を変えるか」

辛島理人（神戸大学国際文化学研究科）

「和をもって貴しとなす」という言葉を好む日本社会ですが、歴史的にみれば複数の内戦が発生し、その争いごとに国の「中心・周辺」や「主流・非主流」が変化してきました。明治維新（内戦）とアジア太平洋戦争（世界戦争）によって形作られた現在の地域間関係は、インバウンドブームに沸く観光によって変化していくのでしょうか。

2月3日

「読書会『観光立国・日本』（光文社新書）」

著者の箱谷真司氏（朝日新聞大阪本社）をお招きし、コロナ禍で最大の被害を受けた経済領域である観光産業において、コロナ以前からの問題は解決されるのか、DXやSDGsといったビジネスの潮流はどのような影響を与えるのか、などについて、全国各地の事例をふまえて議論します。

3月2日

「観光と公共性について考える」

井上弘貴（神戸大学国際文化学研究科）

DMOの相次ぐ設置、ソリューションカンパニーとなりつつある旅行業、官公庁や自治体で増える官民の人事交流など、観光をとりまく領域ではパブリックとプライベートの境界が常に変化しています。営利と非営利の両者を地域という文脈のなかでわたしたちはどのように架橋することができるのでしょうか。

英語プレゼン実習（水曜午前 9:30～11:30：オンラインでリアルタイム配信）

受講者が関わる地域あるいは事業について、5～10分程度の英語プレゼンテーションができるようになることが、この実習の目標です。水曜午前中（1/10・1/24・2/7・2/21）にオンラインで準備を行い、2回（2/3・3/2）のスクーリングで予行演習と発表会を開きます。

英語コミュニケーション実習

海外からの問い合わせに英語で回答できるようになることが、この実習の目標です。電子メールを用いて、受講者が関わる地域あるいは事業について質問を受け、それに答えるという形式を用います。

フィールド実習

3月23～24日に京都府南丹市美山町で行います。美山町は2021年にUNWTOによってSDGsに沿った観光振興に取り組む地域である「ベスト・ツーリズム・ビレッジ」に認定されました。「かやぶきの里」など美山町の施設を見学し、国内外から集まった実践家・専門家と持続可能な観光のあり方について議論を行います。

スケジュール

日程・形態	時間	内容	講師	所属
1月10日（水）	0930-1030	ガイダンス（受講生自己紹介）		
オンライン	1030-1130	英語プレゼン実習のイントロダクション		
1月17日（水）	0930-1030	異文化理解と観光	井上弘貴	神戸大学
オンライン	1030-1130	観光と国際関係	辛島理人	神戸大学
1月19日（金）	1700-1800	観光は日本史を変えるか	辛島理人	神戸大学
対面@神戸	1800-2000	ディスカッション		
1月24日（水）	0930-1030	英語プレゼン実習①		
オンライン	1030-1130	英語プレゼン実習②		
1月31日（水）	0930-1030	DXと観光①	吉田夏菜	地域創生Coデザイン研究所
オンライン	1030-1130	DXと観光②	吉田夏菜	地域創生Coデザイン研究所
2月3日（土）	1000-1200	英語プレゼン練習		
対面@神戸	1400-1530	読書会『観光立国・日本』	箱谷真司	朝日新聞
	1530-1700	ディスカッション		
2月7日（水）	0930-1030	英語プレゼン実習③		
オンライン	1030-1130	英語プレゼン実習④		
2月14日（水）	0930-1030	文化遺産と観光①	土井祥子	神戸大学
オンライン	1030-1130	文化遺産と観光②	土井祥子	神戸大学
2月21日（水）	0930-1030	英語プレゼン実習⑤		
オンライン	1030-1130	英語プレゼン実習⑥		
2月28日（水）	0930-1030	地域事情①（教育旅行）	上野雄一郎	JTB神戸支店
オンライン	1030-1130	地域事情②（インバウンド）	北村太	神戸観光局
3月2日（土）	1000-1200	英語プレゼン発表会		
対面@神戸	1400-1530	観光と公共性について考える	井上弘貴	神戸大学
	1530-1700	フィールド実習ガイダンス		
3月6日（水）	0930-1030	世界事情①（DMOの最先端）	中村慎一	ANA総合研究所
オンライン	1030-1130	世界事情②（食と観光）	中村慎一	ANA総合研究所
3月中		世界と日本①（海外の日本学）	辛島理人	神戸大学
オンディマンド		世界と日本②（日本語教育）	川上尚恵	神戸大学
		境界と移動①（国境が変わるとは）	衣笠太郎	神戸大学
		境界と移動②（移民と難民）	工藤晴子	神戸大学
3月中	不定期	英語コミュニケーション実習		
電子メール		（ロールプレイ）		
3月23-24日	土日	持続可能な観光を考える国際共修		
対面@美山		（UNWTO次世代ワークショップ参加）		